

【2】〔空所補充問題テスト演習⑥〕

次の英文の空所を満たすのに最適の語を下の「語群」より選び、必要に応じて適当な形に直して解答欄に書き入れよ。ただし、各括弧には一語が入る。

The sex of a child used to be a matter of chance (or, some might say, the work of God). Nowadays, however, we can find out the sex of a baby at a very early stage in the pregnancy. This opens up the possibility of being able to (1) whether to have a boy or a girl. Should this be (2)? Let's look at the pros and cons.

Proponents of sex selection claim that it would allow us to (3) the number of boys and girls that are (4) into the world. In some countries, such as China and India, parents might (5) sex selection as a way of ensuring that they have a male child, since female children are seen less (6). While these arguments for sex selection are (7) to be accepted widely, there are also medical reasons for wishing to choose the sex of a baby. For example, some genetic disorders such as hemophilia and Duchenne's muscular dystrophy (8) only boys. Couples whose children might be (9) to these diseases would have good reason to wish to have only female children.

Opponents of the practice, on the other hand, claim that it could (10) a significant imbalance in the world's population, and that serious biological and social changes could (11). Others believe that sex selection should be (12) in God's hands, and that human beings should not (13) in such matters.

Choosing our child's sex is another example of a situation in which science has increased the options (14) to us, while (15) little guidance as to how the new possibilities should be employed.

「語群」

affect	available	balance	bring	cause
choose	desirable	interfere	leave	permit
provide	result	susceptible	unlikely	view

【解答用紙】

(1)	(2)	(3)
(4)	(5)	(6)
(7)	(8)	(9)
(10)	(11)	(12)
(13)	(14)	(15)

【2】

解答

- | | | | | |
|-------------|-------------|--------------|---------------|------------|
| 1.choose | 2.permitted | 3.balance | 4.brought | 5.view |
| 6.desirable | 7.unlikely | 8.affect | 9.susceptible | 10.cause |
| 11.result | 12.left | 13.interfere | 14.available | 15.proving |

全訳

《子供の産み分け》

子供の性別は、かつては偶然の事柄であった(あるいは神の御業と言うものもいるだろう)。しかし、最近では、妊娠中の非常に早い段階で赤ちゃんの性別を判別することができる。これにより、男の子を産むべきか、それとも女の子を産むべきかを選択できる可能性が生まれる。これは許されるべきことなのだろうか。長所と短所を検討してみよう。

男女の産み分けを擁護する人々は、それによりこの世に誕生する男の子と女の子の数を釣り合わせるができるだろうと主張する。中国やインドのような国々においては、女の子はあまり望まれないために、親たちは産み分けのことを確実に男の子を授かるための手段とみなすかもしれない。産み分けについてのこのような主張は広くには受け入れられないかもしれない一方で、子供の性別を選択することを望む医学的な理由も存在する。例えば、血友病やデュシェンヌ型筋ジストロフィーのような遺伝障害は男の子にだけ影響する。このような病気にかかりやすい子供が生まれる可能性のある夫婦は、女の子だけを欲しがると十分な理由を持っていると言える。

他方で、産み分けに反対する人々は、それにより世界の人口に大きな不均衡が引き起こされ、深刻な生物学的、社会的変化が生じると主張している。性別の選択は神の手にゆだねられるべきであり、人間がそのような問題に干渉するべきではないと信じているものもいる。

子供の性別を選択することは、科学が新しい可能性がどのように利用されるべきかについてほとんど指針を与えないままに、私たちに利用可能な選択肢を増加させてきたという事態の 1 つの実例なのである。

解説

1.第 1 段冒頭文に子供の性別が「かつては偶然の事柄であった」とあり、第 2 文で逆接を表す **however** が用いられているので、第 3 文は「現在では性別を選択できる可能性がある」という文意にするのが適切。したがって、「男女の性別を選ぶ」という意味になる **choose** が入る。

2.空所直前の **this** は「男女の性別を選ぶこと」であり、また次の文は「長所と短所を検討してみよう」という意味であるため、ここは問題提起文にするのが適切。したがって、「これは許されるべきか」という意味になる **permitted** が入る。

3.**allow A to** ~で「A は~することが可能になる」という意味であり、空所には動詞の原形が入る。性別の選択が可能になることで、空所直後の「男の子と女の子の数」を目的語とする動詞としては、**balance**「~をつり合わせる」が最も適切。

4.空所直前の **that** は関係代名詞であり、「男の子と女の子」を先行詞としているため、それを修飾する内容としては、「この世にもたらされる、生まれてくる」という意味になる **that are brought into the world**

とするのが最適。

5.view A as Bで「AをBとみなす」という意味の表現で、このときA=Bの関係が成立する。空所直後はsex selection as away of ensuring that…とあり、「産み分け」=「…を保証するための手段」の関係が成り立つので、空所にはviewが入る。

6.sinceがあることから、空所を含む箇所は、同文中の「産み分けを男の子を授かるのを保証する手段とみなす」に対する理由となっている。よって、「女の子は男の子ほど望まれていないから」という文意になるdesirableが空所に入るのが適切。空所直前のlessはless+形容詞〔副詞〕の形で、「より～でない」の意。

7.whileが文頭にあることから、空所を含む箇所は、直前の文で述べられた「中国やインドでは、男の子の方を確実に授かる手段として産み分けを利用する」ことが、広く受け入れられるかどうかに言及し、後半の内容への譲歩としていると考えられる。空所前後のbe動詞およびto不定詞と結びつくbe unlikely to do「～する可能性は低い」という表現を用いることで、「広く受け入れられる可能性は低い」となり適切な文意となる。

8.第2段第3文後半で、男女の産み分けを正当化する医学的根拠があると述べており、空所を含む文はその例として挙げられている。空所前後を「血友病とデュシェンヌ型筋ジストロフィーが男の子だけに影響する」という意味にすれば、産み分けを正当化する根拠となる。したがって、affect「～に(悪い)影響を与える、(病気などが)～を襲う」が空所に入る。

9.空所を含む文の述部は、「女の子を産みたがる十分な理由がある」となっているので、その主部は「これらの(男の子だけがかかる)病気にかかりやすい子供が生まれる可能性のある夫婦」とするべき。be susceptible to～で「～の影響を受けやすい、(病気など)にかかりやすい」という意味になるsusceptibleが適切。

10.空所のある文は、産み分けに反対する人々の主張となっている。空所直前のitは男女の産み分けのことであるから、空所直後の「世界の人口における大きな不均衡」との関係を考えて、その不均衡を導く可能性があると考えられていると推測される。よって「～を引き起こす」という意味のcauseが適切。

11.空所直前の助動詞から、空所には動詞が入るとわかり、また、直後に目的語となる名詞がないため、自動詞とわかる。resultは自動詞で「(結果的に)～が生じる」という意味。

12.空所を含む段は、産み分けに反対する人々の主張について述べており、空所の後ろに「神の手に」とあるので、「(産み分けは)神の手にゆだねられるべきだ」という内容になると推測できる。したがって、leave A in B「BにAを任せる、託す」を受動態にし、leftが空所に入ることになる。

13.1つ前の空所の部分で「(産み分けは)神の手にゆだねられるべき」とある。これに続く主張としては、空所に入る動作の主語が「人間」なので、「人間はこのような問題に干渉すべきではない」が妥当である。したがって、interfere in～「～に干渉する」を用いるのが正解。

14.空所と直後のto usが、直前のthe options「選択肢」を修飾する語句になっていると考えられる。産み分けが1つの事例となることなので「科学が私たちに利用可能な選択肢を増やしてくれた」とするのが最も適切である。よって、available「入手可能な、利用可能な」が空所に入る。the options (which are) available to usのように関係詞とbe動詞を補って考えるとよい。

15.空所直前のwhile「～の一方で」は対比を表し、カンマより前の部分の「科学が私たちに利用可能な選択肢を増やした」という肯定的表現との対比であるから、否定的内容を続けるのが正しい。空所直後に

「(科学が)新しい可能性をどのように利用すべきかについてはほとんど指針を」とあるので、「指針を与えてくれている」とすればよい。したがって,provide「与える」が入る。また,ここでは直後に来る代名詞の主語と be 動詞が省略されていると考えられる。while (itis) providing～が本来の形。while, if などが導く副詞節では主語,be 動詞が省略されることがある。

【3】

解答

問 1.全訳下線部参照。問 2.人間が視覚と聴覚を優先させるのに対し,犬はものを認識する際に五感を働かせる順序が逆で,嗅覚や味覚が優先されるということ。(60字以内)問 3.(ウ)問 4.(c)・(e)・(f)

全訳

人が周りの世界を感じとる方法には,生まれながらに備わった順位があり,視覚はダントツの1位である。目は人間の心理を研究する人たちの興味を大いにかきたてるものだ。目は,その形状だけから想像しうる以上の能力を発揮するのである。人がどれほどかわいらしい鼻の持ち主だろうが,額がどれほど脳の近くにあるだろうが,鼻額,頬,耳のいずれも,それほどの重要性を認められてはいない。

私たちは,視覚的な生き物である。2位もほぼ,吟味するまでもないくらいだ。というのも,聴覚は私たちが体験するほぼすべての経験についてまわるものだからである。嗅覚と触覚が3位を争うかもしれないが,味覚は大きく離れての5位だ。もっとも,これらの感覚のいずれも,いかなる特定の場合においても,私たちにとって重要ではないというわけではない。例えば,何段重ねにもなったウェディングケーキの美しさも,もし期待されるこの上ない甘みが酢の味に取って代わられたら,その価値は下がるだろう。あるいは,ケーキから漂う焼き菓子の香りのほかに,何か臭いがしたりまたあるいは,最初のひと口の食感が,やわらかくしなやかなものでなく,カリカリとかネバネバであったりしても,そうだろう。それでもやはり,たいいていの場合,私たちは目新しい景色や物に対しては,まずじっくりと視線を向けるのである。ジャケットの袖に何か変わったものや予期せぬものがついているのに気づくと,私たちはそれを目で確かめようとする。その臭いをかいだり,勇気を出してなめたりすることで,それについて調べようという気になるには,視覚が本当に何も情報を提供してくれない必要があるだろう。

犬の場合,五感を働かせる順序が反対である。鼻は目に勝り,口は耳に勝る。犬の嗅覚の鋭敏さを考慮すれば,視覚が補助的な役割を担っているというのもうなずける話だ。犬があなたの方に頭を向けるときは,あなたを目で見るためというよりむしろ,鼻であなたのことを見るためなのである。目はただ,一緒にこちらを向いているだけなのだ。あなたは今ちょうど,部屋の向こう側にいる犬から何かをお願いするようなまなざしで見つめられているかもしれない。しかし,果たして犬には私たちの行動が見えているのだろうか?

多くの点で,犬の視覚系は世界を見る補助的な手段ではあるが私たちの視覚系と大差はない。実は,犬は視覚を他の感覚より下位に置くことで,私たちの目は見落としてしまうような細かいところをその目で見ることができるのかもしれない。犬には何のために目が必要なのだろう,と疑問に思う人もいて当然だろう。犬はその素晴らしい鼻を働かせて進む方向を探り,食べ物を見つけることができるのだ。もっとよく調べる必要のあるものなら,口へ直行だ。さらに犬は,鋤鼻器官という,口と鼻の間にある感覚器官を使ってお互いを識別することもできる。結局のところ,犬には少なくとも2つの,非常に重要な目の使い方がある。他の感覚器官を補完するためと,私たちを見るためである。犬の先祖であるオオカミの話にもあるが,犬の発達史によって,犬の視覚が進化した背景が説明されている。犬が人間観察を得意とするようになったのは,幸いな,形を変えた副産物なのである。

解説

問 1.However pretty...have と however close...brain は,ともに複合関係副詞の however 「どんなに～であろうとも」を用いた表現。本来は one might have a pretty nose や the forehead is close to the brain という語順だが,however は直後に形容詞・副詞を伴うために,語順が変わっている。見た目のよさや脳との位置関係などに関わりなく,目が重要と述べられているのである。neither A nor B nor C nor D は「A,B,C,Dのいずれも～ない」という表現。grant「～を認める,～を与える」問 2.「犬の場合は,五感を働かせる順序が反対である」という文の内容を60字以内で説明する問題。第1・2段で,人の五感,視覚,聴覚,嗅覚,触覚,味覚の順で重要な働きをするということが述べられている。これに対して,下線部(2)の直後の文(Snout beats eyes...)から,犬は反対に,視覚や聴覚よりも嗅覚や

味覚の方が優先的に働くことがわかるので、これを踏まえて説明する。

問 3.(A)については、この直前の第 4 段で、犬にとって視覚は補助的なものだと述べられていることから、犬が何のために目を必要としているのかという疑問が述べられていると判断でき、eyes が入る。(B)については、犬は食べ物を探すのに、嗅覚に頼るという文脈と考えられ、noses が入る。(C)については、第 3 段第 2 文で、犬の場合、口は耳に勝ると述べられていることから、鼻の次は口に頼るはずであり、mouth が入る。よって、(ウ)が正解となる。

問 4.(a)「進化論的見地から見ると、1 つ気がかりなことは、犬の先祖であるオオカミがそうなったように、犬も視力を失う可能性があるということだ」

最終段第 6 文(The natural history...)に、オオカミについての記述があるが、犬の視力が進化した背景を述べる文脈においてであり、視力を失う可能性についての記述はないので、本文の内容に一致しない。

(b)「人間にとって目が他の感覚器官より重要なのは、その形状の美しさのためである」

第 1 段第 2 文(Eyes arouse...)後半に、目には形状から想像しうる以上の機能があると述べられており、見た目は重視されていないので、本文の内容に一致しない。

(c)「人は何か見慣れないものに遭遇すると、視覚から一番多くの情報を収集する可能性が高い」

第 2 段第 7 文(Still, on most occasions...)～最終文には、私たちは見慣れない、予期せぬ光景や物体にはまず目を向け、情報を収集する、と述べられており、本文の内容に一致する。

(d)「犬があなたに頭を向けているときは、鼻よりむしろ目を向けようとしている」

第 3 段第 4 文(When a dog turns...)に、犬があなたの方に頭を向けているとき、それは目で見るといふよりむしろ鼻をきかせるため、と述べられており、本文の内容に一致しない。

(e)「最も重要な感覚ではないとはいえ、犬において視覚は、やはり何らかの役割を果たしている」

最終段第 5 文(As it turns out...)に、犬には少なくとも 2 つの重要な目の使い方があると述べられており、本文の内容に一致する。

(f)「ウェディングケーキは、もし酔っぱい味がしたら、その魅力を失うだろう」

第 2 段第 5 文(The loveliness of presentation...)に、甘いはずのウェディングケーキが酔の味であれば、その価値は低下するだろうとあり、本文の内容に一致する。